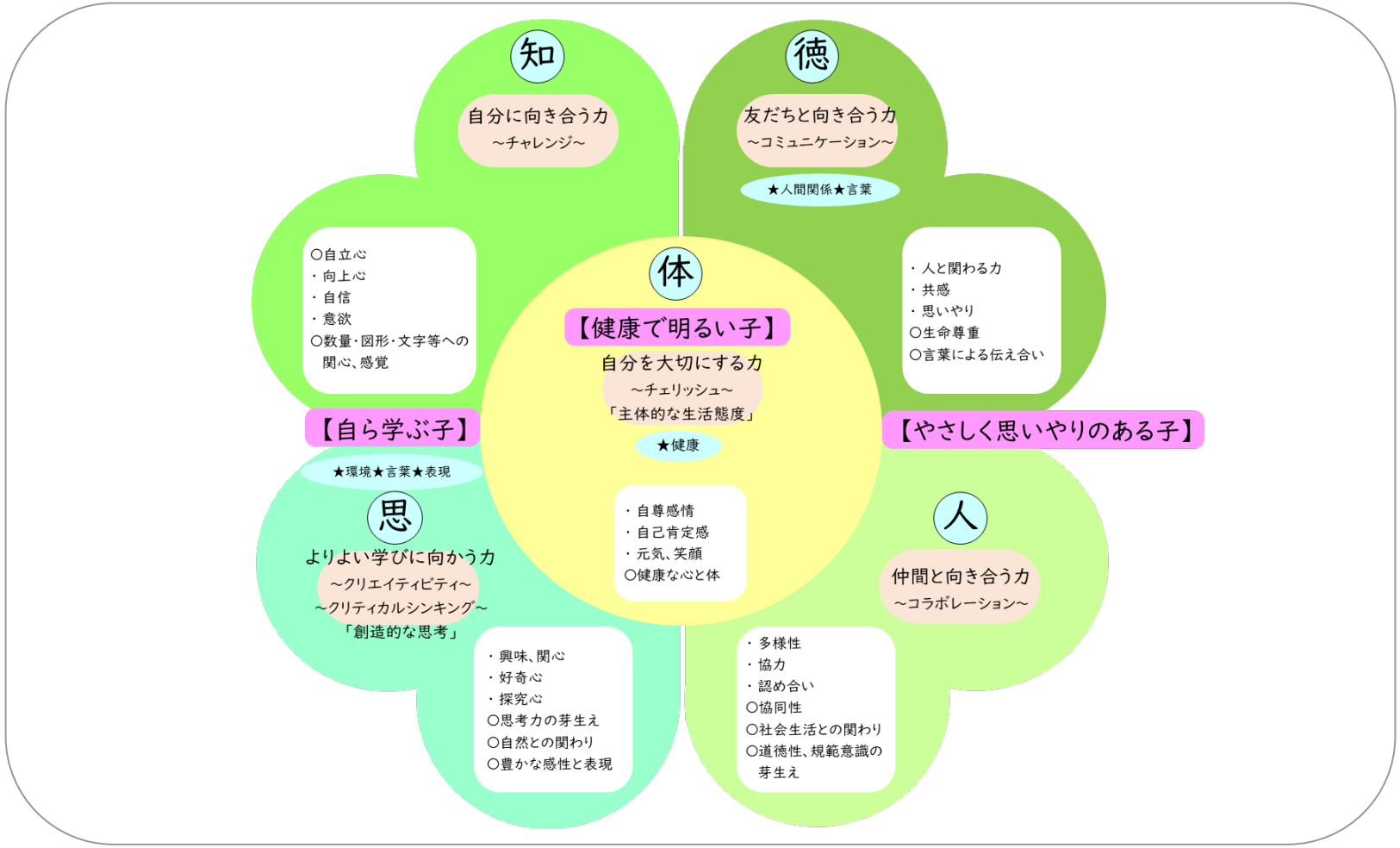
【枚方市】　幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業（文部科学省委託事業）

R5.5時点

事業実施の目的	接続は各学校園に任されており、連携が図れていないところや、カリキュラムが存在していない園も多い現状である。市として校区毎に体制をつくり枚方版カリキュラムを提示することで、地域性を活かしたカリキュラムの編成のもと、持続的かつ自走的に接続が図れるようにしていく。
事業内容・成果（R４年度）	**１．主な取組内容について** **【架け橋期のカリキュラム開発会議】** ・学校の敷地内に公立幼稚園がある香里小学校区をモデル地域として、モデル地域架け橋開発会議を設定。情報交流や事例研修などを行い、カリキュラムの開発に向けた会議を月に１回程度実施。 **【架け橋期のカリキュラム】** ・モデル地域架け橋開発会議にてフォトチャット研修を軸とした協議を重ね、幼小相互に共通する5つの視点を０歳から18歳までを見通して共有。 **【園・小学校における体制】** ・モデル学校とモデル園では、生活科合同授業保育を実施することを通して月に3回程度、打ち合わせや会議を実施。年間を通した取組とともに合同授業保育を公開。 ・モデル学校園以外の地域では、年度末に小学校区ごとの窓口連携推進体制を決定。 **【自治体における体制】** ・市長部局と教育委員会から指導主事等の担当者を決定。 ・月に1回、公立就学前児童施設のリーダーを対象とした会議を実施、モデル学校園の取組を共有したり、フォトチャット研修をしたりすることを通して、幼児教育において育ってほしい資質能力について理解を深め、架け橋期コーディネーターとしての発信力等を育成。 **２．主な成果について** ・モデル地域と公立就学前児童施設の先生は、会議を重ねるごとに互いに大切にしていることの共通性を実感し相互理解がより高まった。子どもを理解する視点が広がることで、それぞれが教育保育内容やカリキュラムを見直すことにつながった。

事業実施地域・協力園校（R４年度）	【実施地域】香里小学校区 小：公立小学校１校、 幼：公立幼稚園１園、私立認定こども園１園、 保：公立保育所２園、私立保育所３園	今後の目標（R５年度）	【体制作り】地域就学前児童施と小学校校区で体制をつくり、窓口連携推進会議を実施。子ども間や職員間の交流を通して、カリキュラムの検証につながる土台を作る。 【カリキュラム検証】モデル地域版架け橋カリキュラムの検証をモデル地域やその他校区で行い、年度末には令和６年度に活用できる枚方版架け橋カリキュラムの開発を行う。

香里小地域で育みたい資質・能力



【枚方市】 架け橋期のカリキュラム（案）

R5.5時点

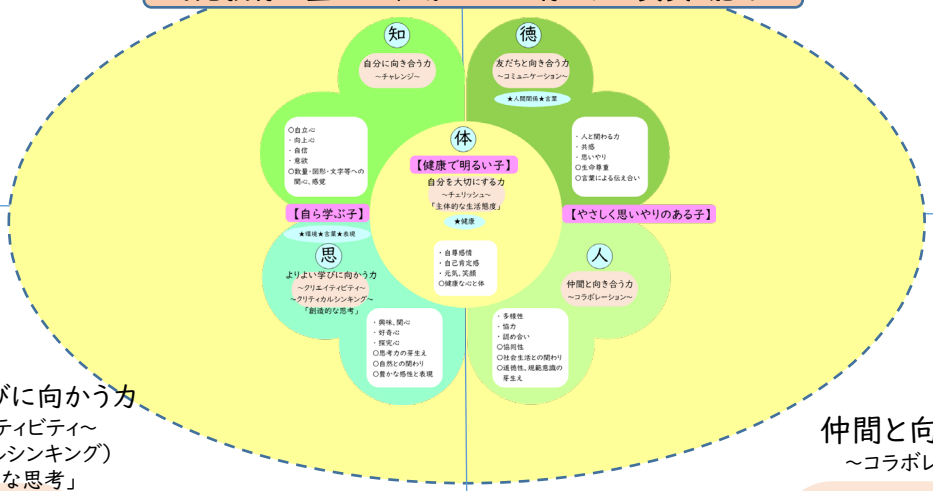
知

自分に向き合う力
～チャレンジ～

徳

友だちと向き合う力
～コミュニケーション～

幼児教育の豊かな活動によって育まれる資質・能力

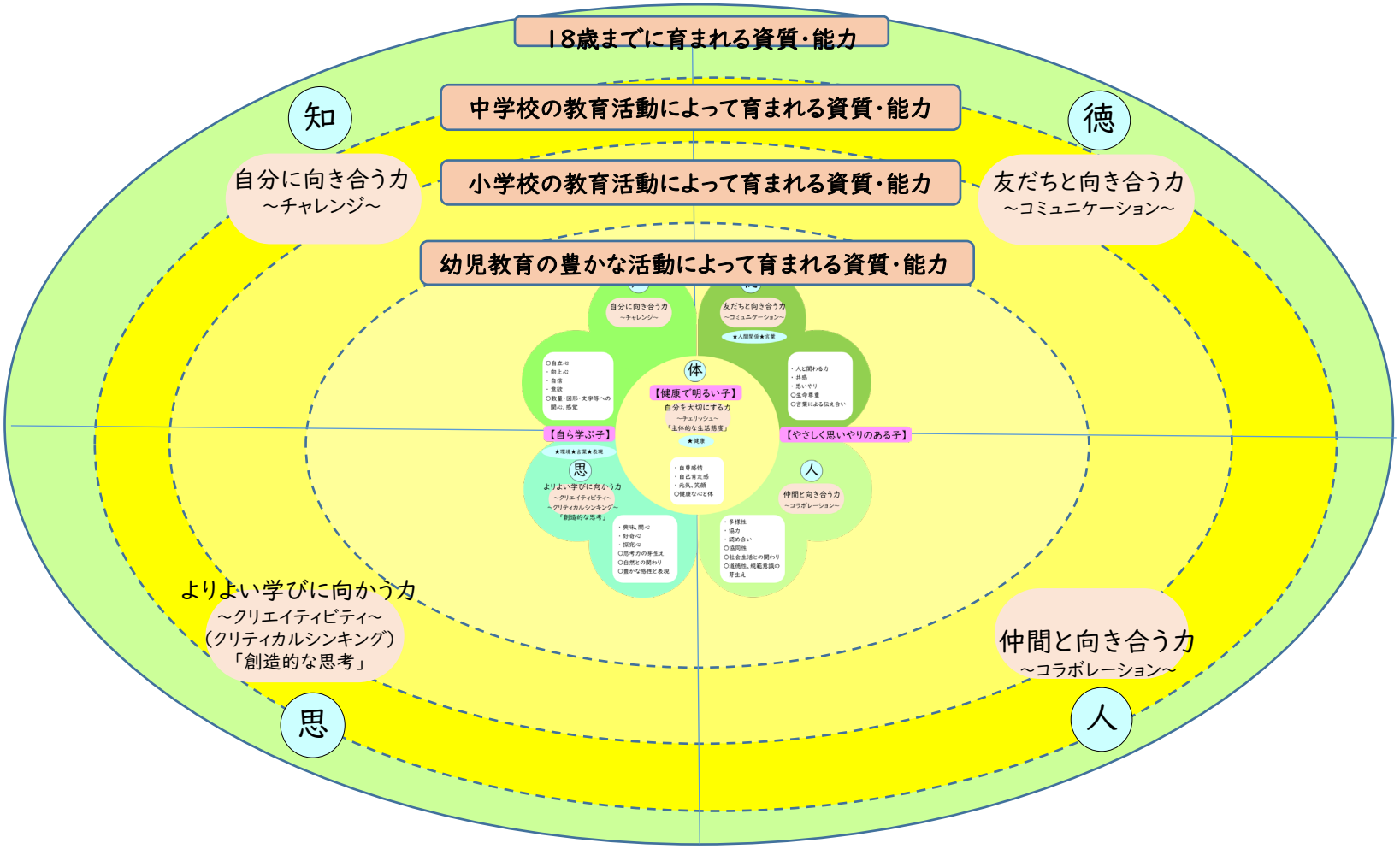


よりよい学びに向かう力
～クリエイティビティ～
（クリティカルシンキング）
「創造的な思考」

思

仲間と向き合う力
～コラボレーション～

人

【枚方市】 架け橋期のカリキュラム（案）

R5.5時点